

# 帰ってきた魅惑のギター・ヒーロー ランディ・ローズ

## 「実力」が問題の ミュージック・シーン

移り変わりの激しいミュージック・シーン。昨日まで無名だった人が一夜明けたらスーパースターになっていたとか、またその逆についての前まで雑誌のクラブを動いていた人が、いつの間にか忘れられた存在になっていたり、そういう人って、ちっとも考えただけでも辛いものがありますよ。

そんな厳しいこの世界で、生き残っていくためには必要なのっていったい何だと思います？ マックス？ それとも善い女アディダ？ 確かにそういうものも、注目を集めるためには大切な要素かもしれませんが。でも、結局それはほんの少しの間話になるだけで、すぐに飽きられてしまうものでしょ。やっぱり長後に開眼になるのは「実力」なんです。「実力」無しの人気なんて、とっくに色あせてくっぺいものなんです。

さて、今みなさんの目の前にいる男の子、ブロード・ヘアーがとっても素敵で彼も、そんな厳しいミュージック・シーンに生きている1人です。

## ハンサム揃いだった 「クワイエット・ライオット」

今から3年前、ロサンゼルス出身の「クワイエット・ライオット」というバンドがいたのを覚えている人、いるかしら？ 4人のとってもハンサム揃いのバンドで、当時はこのロック・シチュエーションでもかなり人気だったから、日本でも結構人気があったんですよ。ところがアルバムを1枚出しただけで、そういうおかげが解雇してしまい、その後いいメンバーがどうなったのかもわからないまま、だんだん忘れられてしまったんです。カリー



「クワイエット・ライオット」の頃のランディ。まだ本名の字で、

「ヘアー」としてもキュートなヴォーカルのケビン、やさしそうなおケリー、ブルースの天才がとってきれいなドリュー、みんなとっても素敵だったけど、でもやっぱりみんなの熱い視線を一番多く集めていたのは、リード・ギタリストのランディ・ローズでした。抜群のアクティビティとカッコいいスタイル・アクションは男の子を、そしてキュートで甘いルックスは女の子を夢中にさせてい

たんです。

そんな彼らの家が、ミュージック・シーンから消えて3年、突然私たちの目の前に、なつかしい姿を現わしたのは、あのランディでした。昔と少ししか変わらないキュートなルックス。でもその中にちよっぴり男っぽさを加えて、ランディは今帰ってきました。



これは新しいバンドの仲間、左からドリュー・ローズ、ケビン・カースレイタ、ボブ・ディズレー、そしてランディ。